

平成 17 年 10 月 4 日

## 地域から愛され親しまれた小学校跡施設が 地域住民らの運営協議会によって生涯学習施設としてよみがえる ～“ みらい館 大明” 10月11日(火)オープン～

惜しまれつつも 3 月に閉校になった区立大明小学校が、**学校だった建物を大切にしたい**、また、**地域の施設として活用したい**という地域住民らからなる運営協議会の管理により、よみがえる。10月10日(月)にオープニングセレモニーと施設見学会が行われ、施設は、翌10月11日(火)にオープンする。

施設内は、廃止施設とは思えないほどきれいで、近くの学校の主事さんなどのボランティアにより、廊下も部屋の床もピッカピカである。

施設名称：“みらい館 大明”

開館日：年中無休（年末年始 12 月 28 日～1 月 4 日、工事保守点検の臨時休館日除く）

利用時間：午前 9 時～午後 9 時

場 所：豊島区池袋 3-30-8（JR 池袋駅西口 徒歩 10 分）

延べ床面積 1,684.5 平方メートル（1 階：627 ㎡、2 階：1,057.5 ㎡）

利用できる施設：オーディオルーム、レク・ルーム、会議室、和室、体育館、パソコンルーム、  
工作室等 14 施設

申し込み：団体として要利用登録 登録団体の条件、利用者負担金等は豊島区ホームページ  
(<http://www.city.toshima.tokyo.jp/oshirase/sonota/170801-01.html>) 参照

運営主体：大明小学校跡施設運営協議会 電話（3986）7186

オープンを記念して、**オープニングセレモニーと施設見学会**が下記のとおり開催される。

日 時：平成 17 年 10 月 10 日（月） 午後 1 時～午後 4 時

場 所：“みらい館 大明” 体育館

内 容：施設説明

歌やダンスのパフォーマンス

出演 toutou(フジテレビ「ガチャガチャポン」エンディングテーマや 10 月からのテレビ  
東京の人気アニメ「ケロロ軍曹」のエンディングテーマをうたう平成生まれの姉  
妹デュオ)

IKB-homies (全員が豊島区出身のダンス&ボーカルユニット)

SATURDEY CHANGO FEVER(韓国の打楽器チャンゴのパフォーマンスプロジェクト)

チェリーズ (地域の小中学生のバトンとポンポンを使ったダンスグループ)

施設見学

オーディオルーム (はまなすの会：カラオケの練習)

レクルーム (ルミエール：バレエレッスン)

和室 (パッチワークカトレア：パッチワーク作り) 他

豊島区教育委員会は、平成 9 年に「区立小・中学校の適正化第一次整備計画」を策定した。これを受け豊島区は、本年 3 月に、大明小学校と池袋第五小学校を閉校し、4 月に、池袋第五小学校校舎を使用し、新小学校（池袋小学校）を開校した。この間、大明小学校の廃校後の施設を考える会代表杉本カネ子氏らが、同区議会に請願書を提出し、採択された。同請願には、「既存施設を利用して高齢者施設、福祉・スポーツ、乳幼児と親・小学生・中高生の集まれる場所に」してほしいということ、「事業の立ち上げ・運営は NPO 組織やボランティア団体に」ということが謳われていた。同氏をはじめとする地域住民は、大明小学校跡施設検討組織発足準備会を組織し、8 回の検討会を経て報告書をまとめ、検討報告会を行った。この内容は、①施設等の(区からの)無償借用、②独立採算による施設運営、③地域住民による運営管理を前提に、文化芸術、生涯学

習、スポーツ等の講習会・ワークショップ、まちづくりイベント等を展開するとしており、区の目指す、さまざまな主体の参画と協働による区政運営に合致するものであった。

以下、大明小学校跡施設運営協議会理事長 杉本カネ子さん(54歳)のお話。

私は、大明小学校と同じ昭和26年生まれ 学校の周年記念と自分の年が同じでした。

学校のそばに住まいも、昭和49年から経営するヘアスタジオもあります。2人の子供は大明小学校を卒業しました。豊島区が施設運営委員会をつくった時から委員として参加し、平成7年からは、委員長として関わり、学校の先生達よりも学校施設の中のものがある場所が分かるぐらいになりました。

今回のことの一番のきっかけは、統廃合後の小学校をこちらの小学校に持ってきてもらいたいと思い、空気や酸性雨調べなどもし、そういうことを通じて、ここが子どもたちにとってよい環境だと確信を持ったからです。また、地域的にも子ども達のことをとてもよく見ている地域なので、子どもにきてほしいという願いがありました。

しかし、統合後の学校がとなりの小学校に決まりました。そうであれば、子どもや高齢者にとっての生涯学習の施設として、子どもと高齢者が一緒になってここで何ができるか考えるようになりました。

区議会に請願を出してそれが15年7月に採択され、いろいろな準備をして16年12月に活用委員会を立ち上げ、17年の4月まで、施設の活用方法を検討しました。活用委員会には30名が入ってくれました。運営委員会を17年4月から49名の出資参加をえて発足しました。

利用について、個人にせず団体登録制をとった理由は、運営組織のNPO化を見据えて広く一般の方に対して団体登録ができるよう条件は緩やかにしつつも、責任所在がはっきりさせたかったためです。また、使用する部屋の1年分がとれること。これもこの施設の特徴です。

難しかった点は、皆さんがこの施設に思いを入れて使ってくれば、収入もあがりますが、学校なのになぜただでできないのか、そういう方もいらっしやったこと。子どもや高齢者に還元できる事はしますが、このことをはじめたのは、区にお金がないなかでこの施設を守ろうということがはじめなので、警備員を雇ったり、電気代などにお金がかかりますが、理解して利用してもらわないと収入が入ってきません。皆さんに理解してもらい、たくさん利用していただきたいのです。

現在、登録団体が112ありますが、全員が毎日使うわけではありません。皆さんに気持ちよく使ってもらいたい。廃校になった建物だからというのではなく、どうせ使うならきれいに使いたい。きれいにすると、借りる人もきれいに使ってくれると思います。皆さん自分のうちと思って使ってもらいたい。

この場所を交流の場所にして、いろんなことを発信していきたい。また、この地域は、外国の方が多く、国際色豊かなことも生かした交流の場所にしたい。

NPOの申請は、8月1日に申請し、結果を待っているところです。

今は、暫定的に建物が悪くならないよう管理している。全部ボランティアで掃除から受け付けまでしている。春は桜の掃除、雑草も大変、主事さんの大変さを痛感しました。これからは落ち葉が心配です。

ここは、道が分かりにくいものの、JR池袋駅からも地下鉄要町駅からでも徒歩10分弱と大変便利。ここからこういうことができると次の時代に向けて発信していきたい。そこから「みらい館」という名称もきています。

地域の枠を越えて、だれでも参加できるものにしたい。ただ借りているだけ、自分達の趣味だけであったものを、一緒になって作っていくものに。それが参加型ではないでしょうか。

**詳細：大明小学校跡施設運営協議会、豊島区施設再構築・活用担当係長**